

日本作業療法教育研究会ニュース 第 67 号

2018年 8月 20日発行
日本作業療法教育研究会

＝紙面案内＝

- 1～2面：コラム（学内の取り組み）
3面：第23回日本作業療法教育学会
4～5面：事務局からのお知らせ

事務局

〒723-0053 広島県三原市学園町1-1
県立広島大学 保健福祉学部 古山千佳子
TEL・FAX：0848-60-1237
E-mail otkyoiku@gmail.com

学内での取り組みの紹介

京都大学におけるダブルアポイントメント教員の紹介

京都大学 小川 真寛

私の所属である京都大学の人間健康科学科およびその大学院の人間健康科学系専攻では、高度先進医療を担い、かつ医療専門職として研究を推進し、指導的役割を果たす高度医療専門職の育成が推進されている。大学改革が進む中、この役割を果たすべく、大学の取り組みとして、入試制度の改革、学部・修士の一貫教育、ダブルアポイントメント教員制度の導入等が実施されてきている。ダブルアポイントメント教員制度は、一般的にはクロスアポイントメント制度と言われ、研究者等が大学、公的研究機関、企業の中で、二つ以上の機関に雇用されつつ、一定のエフォート管理下のもので、それぞれの機関における役割に応じて研究・開発及び教育に従事することを可能にする制度である¹⁾。この背景は2014年に国の施策として、イノベーションの創出に大学や研究機関の技術が民間企業に橋渡しされることが重要と考えられ、複数の組織において大学教員等が活躍できる環境を整備することが推奨され、クロスアポイントメント教員の積極的な導入・活用が提言されたことがある。私はこの制度を利用して、2017年度より京都大学の医学部附属病院と人間健康科学科の2つの組織に勤務するダブルアポイントメント教員として雇用されている。まだ短い業務経験ではあるが、この職務の実際、この経験を得ての実績や今後の課題について紹介する。

現在、私のエフォートは大学が40%、大学病院が60%となっている。具体的な病院業務としては、毎日のリハビリテーション部での診療業務と緩和ケアチームのラウンドを主な役割としている。一方、大学では学部・大学院の授業の一部、可能な範囲で行える運營業務、学部学生・大学院生の研究指導を行っている。実際の職務はこの通りであるが、この他にもダブルアポイントメント教員の重要な役割として、大学と大学病

院の橋渡しがある。これまで、人間健康科学科と大学病院の建物は道路を挟んで向かい同士にあるにも関わらず交流は少ない状態であった。まずはこれを改善し、さらには両者に有益となるように働きかけるのが本教員の重要な役割である。

例えば、院生教育を例に挙げる。京都大学の特徴の一つに学部生から修士へそのままストレートで行く学生が多いことが言える。今後、学部から修士までの6年一貫教育を主体とした教育課程が創設されるため、この傾向は一層強まるであろうと予測される。これまで、学部卒業後に院生が臨床経験を積めないまま、修士・博士を卒業していくことがあり、学位を持っているが臨床に出ても臨床実践の能力は新人と変わらないような学生も見られた。さらには、在学中の学位取得のための研究も臨床的な疑問を持つということが困難であり、作業療法の臨床とギャップのある研究も少なくない状況である。これらを解決するために、教員が大学病院の臨床に携わって、大学との橋渡しをするということが今回の人事の一つの趣旨である。この結果、現在では大学病院で院生の受け入れを行いやすくなり、大学院に通いながら毎日作業療法士として病院で臨床経験を積む院生が増加した。そして一方で、病院のメリットとしては作業療法の拡大や作業療法士の人員不足の解消に寄与できればと考えている。

院生が臨床で研究ができる環境を作ることも重要で、そのために大学病院の環境を活かせることは有益と思われる。したがって、リハビリテーション部門やその他各診療科の先生とコミュニケーションを取りながら、作業療法の専門性を活かして院生が取り組める研究企画の開発を進めている。このような形で作業療法の知識・技術と病院のニーズをすり合わせ、大学病院側のメリットにつながるようにすればウィンウインの関係を樹立することになると思い、取り組んでいる。

しかし、ダブルアポイントメント教員はメリットばかりでない。大学の教育・運營業務は、他の教員に比べ縮小せざるえない部分もあり、自身の研究を行う時間や、社会貢献活動等に使っていた時間を削らざるえない状況になった。このようなデメリットもあるが、医師等の卒後教育では診療、教育、研究を一体的に行い、臨床教育が早期から行える環境が当たり前である。そのため、我々、コメディカルの育成、とりわけ高度医療専門職の育成のためにはこういった先駆的取り組みは将来的に重要でないかと考えている。長期的にみて、作業療法の養成校教員が大学病院勤務を並行し、診療、教育、研究のそれぞれの場面に携わることは、大学にとり大きな教育的効果を創造できる可能性がある事業と考える。今後、早期から研究、臨床のできる作業療法士を育成し、高度の実践能力を身につけられる教育システムを創造し、養成校としての強みにできるような発展的な仕事を行うことが本ダブルアポイントメント教員の使命と考える。

1) 経済産業省：クロスアポイントメント制度の基本的枠組と留意点，
(<http://www.meti.go.jp/press/2014/12/20141226004/20141226004-2.pdf>)

The 23rd Annual Meeting of Japanese Society of Occupational Therapy Education

第 23 回日本作業療法教育学会

作業療法教育新時代 ～養成教育・臨床教育の方法論考究～

大会長 藪脇 健司（吉備国際大学）

本年 10 月の第 23 回学会開催に向け、吉備国際大学に設置された事務局にて準備を進めております。今回のテーマを実現すべく、養成校教員と臨床実践者が一体となって作業療法教育の方法論を考究できる機会を作りたいと思います。多くの皆様のご参加と演題発表を心からお待ちしております。

なお、演題募集期間を 8 月 31 日（金）まで延長しました。この機会に演題登録をどうぞよろしくお願い致します。また、参加の事前登録は 9 月 14 日（金）までとなりますが、本学会では、参加費、レセプション会費の収受に PassMarket（クレジットカード/コンビニ決済）を利用しますので、ご了承下さい。

学会の開催要項は下記の通りです。最新の情報は Facebook ページより発信致します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

<http://www.facebook.com/jsotedu/>



- 【日 時】 2018 年 10 月 13 日（土）～10 月 14 日（日）
- 【会 場】 岡山大学病院（医学部医学科基礎医学講義実習棟）
〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1
[アクセス] 路線バス・循環バスで約 10 分
- 【参加費】 会 員：事前登録 5,000 円 当日参加 7,000 円 1 日参加 4,000 円
非会員：事前登録 7,000 円 当日参加 8,000 円 1 日参加 5,000 円
- 【お申込み】 事前登録期間：6 月 1 日（金）～9 月 14 日（金）
演題募集期間：6 月 1 日（金）～8 月 31 日（金）
詳細は下記 URL からご確認ください
<http://joted.com>（研究会公式ウェブサイト）
[QRコード] 右コードより参加登録可能
- 【お問合せ】 第 23 回日本作業療法教育学会事務局
E-mail : joe23@kiui.ac.jp



事務局だより

【じむきょく】 - 事務局よりお知らせ -

第52回日本作業療法学会 モーニングセミナーのご案内

第52回日本作業療法学会において、日本作業療法教育研究会主催のモーニングセミナーを行います。3名の話者をお迎えし、今後の臨床実習のあり方について考えます。

作業療法教育、特に臨床教育に興味・関心のある方は是非、ご参加ください。

テーマ：変わりゆく臨床実習にどう応えるか：作業療法学生のコンピテンシーとその評価

セミナー区分：モーニングセミナー

日時：2019年9月8日（土）8：50～10：20

会場：第8会場

司会：佐藤 善久（日本作業療法教育研究会副会長，東北福祉大学）

話者提供：鈴木 孝治（藤田保健衛生大学）

小林 幸治（作業療法教育研究会理事，目白大学）

酒井 ひとみ（作業療法教育研究会理事，関西福祉科学大学）

会員募集のお知らせ

作業療法教育研究会では、会員を募集しています。

この研究会では、より質の高い作業療法教育の実現を目指して、教育現場における様々な問題提起や問題解決に取り組んでいます。

年1回の学術集会、年1～2回の学術誌「作業療法教育研究」の発行、年2～4回のニュース発行、ホームページを通じた情報発信と情報共有が主な活動です。現在の会員数224名、賛助会員2です。

作業療法士教育に興味、関心のある方は、是非ご入会ください。お待ちしております。

詳細は、[日本作業療法教育研究会ホームページ](http://www.joted.com/) 入会案内 <http://www.joted.com/> をご覧下さい。

入会金：1,000円 年会費：3,000円 賛助会員 一口10,000円

振込口座 郵便振り替え 01320-2-58224 日本作業療法教育研究会

問い合わせ先 事務局 広島県三原市学園町1-1

県立広島大学 作業療法学科 古山研究室内

E-mail: otkyoiku@gmail.com

研究費助成 募集！！

日本作業療法教育研究会では、研究助成募集を行っています。

皆さん、奮ってご応募ください。

詳細は日本作業療法教育研究会ホームページ <http://www.joted.com/>（研究費助成）をご覧ください。

- 作業療法教育の発展に寄与する研究であること
- 代表研究者は日本作業療法教育研究会会員であること
- 1 研究に対し 5 万円を助成する
- 応募締切：2018 年 12 月 15 日

「作業療法教育研究」投稿原稿募集のお知らせ

日本作業療法教育研究会では、機関誌「作業療法教育研究」の発刊を年 1 回行っています。広く会員の皆様からの論文の投稿をお待ちしております。機関誌にあります投稿規程をご覧ください。規定に沿って準備し事務局あてにお送りください。ご不明な点などございましたら、研究会事務局までお問い合わせください。なお、査読は受付日順に行います。原稿受理日によっては、次号の掲載になることもありますので、あらかじめご了承ください。

(ホームページ <http://www.joted.com/>)

OT 教育研究会ニュース メール配信します！

OT 教育研究会ニュースのメール配信を始めました。情報をより早く、お届けすることができます。これまでの郵送からメール配信へ切り替えご希望の方はメールアドレス (otkyoikunews@gmail.com) までご連絡ください。なお、登録いただいたメールアドレスには学術集会のご案内など本研究会のいろいろな情報をお送りしていく予定です。ホームページもあわせてご覧ください。

編集後記

まだまだ暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。そろそろ最終学年は長期実習が終了し、国家試験に向けてエンジンがかかるころではないでしょうか。教員は学生の「作業療法士になりたい」という思いをかなえるために何ができるのか、最後のハードルに向かう学生たちに私たちはどんな支援ができるのか、私たち教員は、教え子が立派な作業療法士になってほしいと願うばかりです。(西井正樹)